



- 津波軽減施設（防波堤等）については、その地震・津波に対する耐性を確認することが、耐津波設計に係わる工認審査ガイドに示されている事を確認し、当該施設の地震・津波に対する耐性を検討し、資料を提示して説明すること。
- 発電所内外に漂流の可能性のある施設が多いことから、当該発電所の立地条件に応じた漂流物の評価フローを検討した資料を提示し、説明すること。
- 図中で標高としてT.P. とE.L. が使い分けられているが、両者の関係を説明した資料を提示した上で説明すること。
- 防潮堤の構造について、基本設計思想、構造の特性と設計上の課題を整理し、詳細な構造を示した資料を提示した上で説明すること。
- 基準の適合性の観点から敷地・構造物等の特徴の課題を整理した資料を提示した上で説明すること。
- 当面の課題の検討状況、マイルストーン等について整理した資料を提示した上で説明すること。

(2) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

## 6. その他

提出資料：

- ・ 東海第二発電所 耐津波設計に係る新規制基準への適合のための課題及び対応方針について
- ・ 東海第二発電所 敷地の特徴を踏まえた耐津波設計方針について（参考資料）
- ・ 東海第二発電所 新規制基準への適合性確認状況（別添）